



# Cisco Crosswork のアンインストール

この章は次のトピックで構成されています。

- [Crosswork クラスタのアンインストール \(1 ページ\)](#)
- [Crosswork Data Gateway のアンインストール \(3 ページ\)](#)
- [Crosswork アプリケーションのアンインストール \(5 ページ\)](#)

## Crosswork クラスタのアンインストール

このセクションでは、Cisco Crosswork クラスタをアンインストールするさまざまな方法について説明します。

- [クラスタインストーラを使用した VM の削除 \(1 ページ\)](#)
- [vSphere UI を使用した VM の削除 \(2 ページ\)](#)

### クラスタインストーラを使用した VM の削除

インストールが失敗した場合は、クラスタインストーラツールを使用して、クラスタの状態に基づいて以前に作成した VM をクリーンアップするか、または削除します。これは、展開が失敗した場合の重要なアクティビティです。VM 設定またはデータセンターホストに変更を加えた場合は、再展開の前にクリーンアップ操作が必要です。



(注) クリーンアップ手順は、vCenter 展開と CSP 展開の両方で同様ですが、唯一の例外は CSP クリーンアップの実行時に「-t csp」オプションを追加することです。



(注) インストーラ クリーンアップ オプションは、/data ディレクトリ内のインベントリに基づいてクラスタ展開を削除します。

**ステップ1** 展開情報を保存するディレクトリを入力します。

たとえば、`_cd ~/cw-cluster` などです。

**ステップ2** ホストでコンテナを実行します。

```
docker run --rm -it -v `pwd`::/data <cw-installer docker container>
```

(注) CSP クリーンアップの実行時に「`-t csp`」オプションを追加します。

**ステップ3** テンプレートファイルのコピー（`v4.tfvars` など）をテキストエディタで編集し、データセンターのアクセスパラメータを追加します。残りのパラメータには、ダミー値を指定するか、または操作の実行時にコマンドラインで入力できます。

**ステップ4** `-m` フラグを使用して、`_cw-installer.sh install_` スクリプトを `clean` ディレクティブとともに展開マニフェストで実行します。次に例を示します。

```
./cw-installer.sh clean -m /data/deployment.tfvars
```

**ステップ5** プロンプトが表示されたら「`yes`」と入力して操作を確認します。

**ステップ6** (オプション) VM の削除に加えて、`-o` オプションを `clean` ディレクティブに追加すると、データセンターから Cisco Crosswork イメージテンプレートも削除されます。

例：

```
./cw-installer.sh clean -m/data/deployment.tfvars -o
```

**ステップ7** (オプション) クラスタを迅速に（検証なしで）クリーンアップするには、次のコマンドを使用してインストーラを実行します。

```
docker run --rm -it -v `pwd`::/data <cw installer docker image> -exec './cw-installer.sh clean -m /data/deployment.tfvars'
```

## vSphere UI を使用した VM の削除

この項では、vCenter から VM を削除する手順について説明します。この手順は、アプリケーション Cisco Crosswork VM を削除するために使用されます。



- (注)
- この手順では、すべてのアプリケーションデータが削除されることに注意してください。
  - **Crosswork Data Gateway の削除のみを行う場合は、次のことを実行しておく必要があります。**
    - 削除する Crosswork Data Gateway VM からデバイスを切り離します。Crosswork Data Gateway からデバイスを切り離す手順については、『*Cisco Crosswork Infrastructure 4.0 and Applications Administration Guide*』の「Delete Cisco Crosswork Data Gateway VM from Cisco Crosswork」の項を参照してください。
    - [Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除する \(3 ページ\)](#) の説明に従って、Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除します。

**ステップ 1** VMware vSphere Web クライアントにログインします。

**ステップ 2** [ナビゲータ (Navigator) ] ペインで、削除するアプリケーション VM を右クリックし、[電源 (Power) ] > [電源オフ (Power Off) ] を選択します。

**ステップ 3** VM の電源がオフになったら、もう一度 VM を右クリックし、[ディスクから削除 (Delete from Disk) ] を選択します。

VM が削除されます。

## Crosswork Data Gateway のアンインストール

このセクションでは、Cisco Crosswork Data Gateway を削除する方法について説明します。

- [Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除する \(3 ページ\)](#)
- [Cisco CSPからの Crosswork Data Gateway サービスの削除 \(4 ページ\)](#)

## Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除する

始める前に


削除する Crosswork Data Gateway VM はメンテナンスモードである必要があります。

**ステップ 1** Cisco Crosswork UI にログインします。

**ステップ 2** ナビゲーションパネルから、[管理 (Administration) ] > [Data Gatewayの管理 (Data Gateway Management) ] の順に選択します。

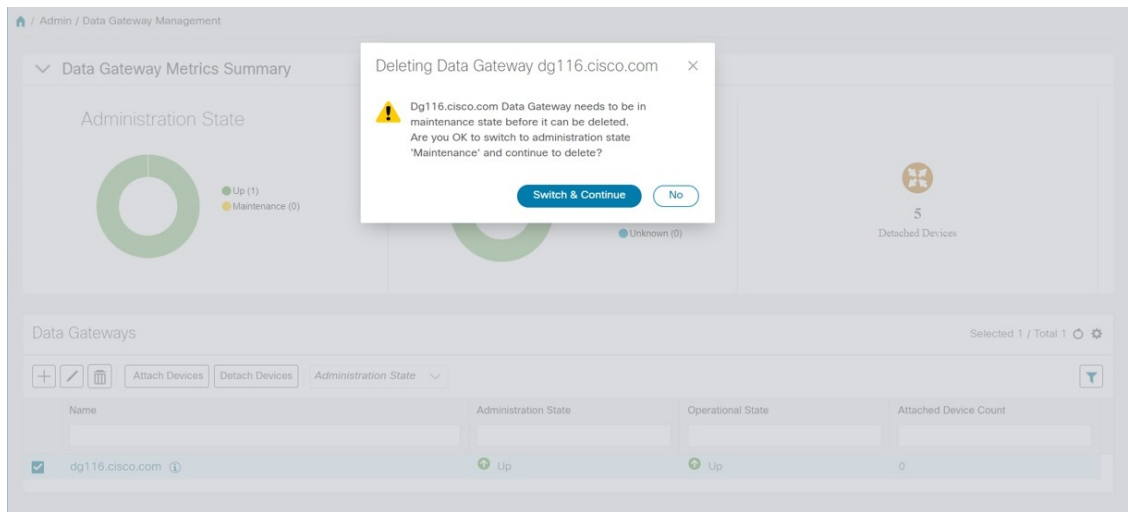
[仮想マシン (Virtual Machines) ] タブをクリックします。

## Cisco CSPからの Crosswork Data Gateway サービスの削除

**ステップ 3** [仮想マシン (Virtual Machines) ] リストで、削除する Crosswork Data Gateway VM を見つけ、[アクション (Actions) ] 列の下にある  をクリックします。

[Delete] をクリックします。

**ステップ 4** Crosswork Data Gateway VM がメンテナンス状態でない場合は、Cisco Crosswork によってメンテナンス状態に切り替えるように求められます。[メンテナンスに切り替えて続行 (Switch to maintenance & continue) ] をクリックします。



Crosswork Data Gateway が削除されます。

## Cisco CSPからの Crosswork Data Gateway サービスの削除

Cisco CSPから Crosswork Data Gateway サービスを削除するには、次の手順を実行します。

### 始める前に

Crosswork Cloud アプリケーションそれぞれのユーザガイドの「*Crosswork Data Gateway* の削除」の項の説明に従って Crosswork Cloud から Crosswork Data Gateway を削除したことを確認します。

**ステップ 1** Cisco CSP にログインします。

**ステップ 2** [設定 (Configuration) ] > [サービス (Services) ] に移動します。

[サービス (Service) ] テーブルにサービスの現在のステータスが表示されます。


**ステップ 3** [サービス名 (Service Name) ] 列でサービスインスタンスを見つて、[アクション (Action) ] 列の下にある [削除 (Delete) ] をクリックします。

# Crosswork アプリケーションのアンインストール

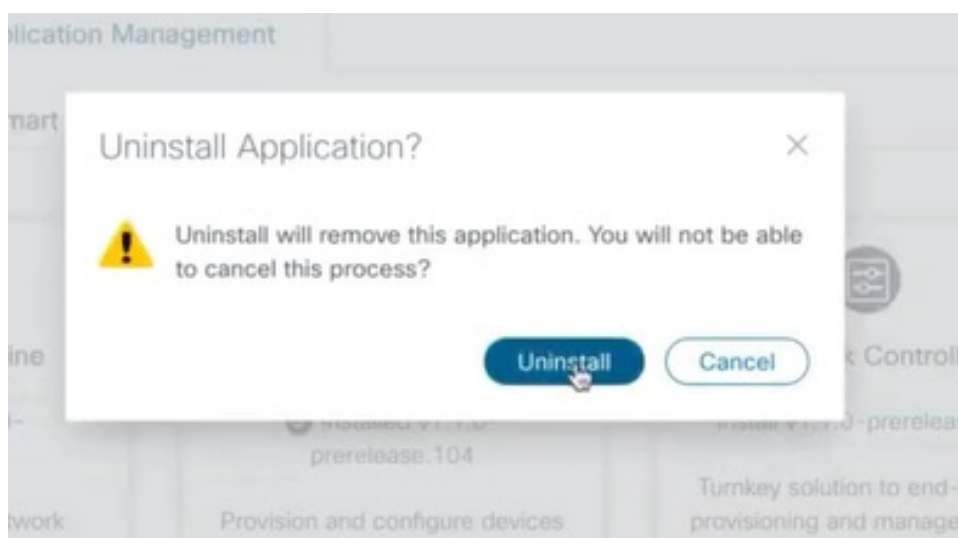
このセクションでは、Crosswork UI でアプリケーションをアンインストールする方法について説明します。[Uninstall] オプションにより、アプリケーション、アプリケーション固有のメニュー、関連付けられたデータが削除されます。

**ステップ 1** [管理 (Admin) ]>[Crosswork の管理 (Crosswork Management) ]をクリックし、[アプリケーション管理 (Application Management) ]タブを選択します。

Crosswork プラットフォーム インフラストラクチャと追加されたアプリケーションは、ここにタイルとして表示されます。

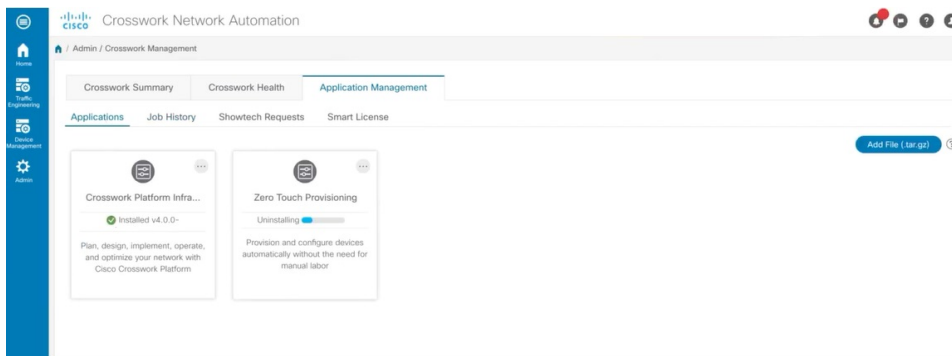
**ステップ 2** アンインストールするアプリケーションタイルで  をクリックし、ドロップダウンリストから [Uninstall] オプションを選択します。

アクションを確認するためのポップアップが表示されます。



**ステップ 3** [アンインストール (Uninstall) ]をクリックして確認します。

選択したアプリケーションがアンインストールされ、同じ内容を反映するようにアプリケーションタイルが変更されます。



[Job History] ウィンドウ ([Application Management] > [Job History]) でアンインストールの進行状況を確認することもできます。アンインストールに失敗した場合は、[Job History] ウィンドウの関連オプションを使用して再試行できます。

(注) アンインストール操作で、リポジトリから CAPP ファイルが削除されることはありません。ユーザーが将来インストールする場合に備えて、CAPP ファイルは Crosswork UI に表示されたままになります。

(注)